

1部復帰に仕上げ順調 開幕戦・専大VS国士大 東都大学野球4月9日開催 (2部)



東都大学野球春季リーグ戦(2部)が神宮第2球場で4月9日から開幕する。専大は第1試合で国士大と対戦。1部復帰を目指し、キャンプ、オープン戦と調整を続けている(試合日程は別表参照)。

今年の専大は弱い!?—松元政樹(商3・明德義塾高)が主将に就任したばかりの新チームに衝撃が走った。それは堀田一彦監督からの厳しい言葉だった。「今年のチームは去年のチームよりも弱い」。チームの核であった選手たちの卒業によりほぼゼロからのスタートを切ることになった。選手たちは不安に襲われたが、毎年恒例の広島・呉キャンプ

(2月9～21日)や、岡山、兵庫、名古屋、静岡で行った社会人チームとの練習試合で2戦2勝と健闘し自信につなげていった。現在行われているオープン戦でも7勝2敗(3月25日現在)と絶好調だ。

昨年の春季リーグ戦で7季ぶりに1部昇格を果たしたものの、秋季リーグでは1部最下位。入れ替え戦にも敗れ、再び2部落ちという結果となった。

「1部に通用するチームにしたい」と話す松元主将。理想のチーム作りは確実に軌道に乗ってきている。目指すは4月9日の開幕戦。「このチームがまとまれば面白い」愛弟子たちの成長ぶりに堀田監督は大きな期待を寄せている。

(岩谷 純一・文1)
[3月27日/ニュース専修16面]